

テーマ：確かな学力
(身につけさせたい力)



中町北小学校の授業風景より

教育はなぜ必要か？

社会の一員としての教養を身につけるため。

教養とは何か？

解剖学者の養老猛司氏によると

『他人の心がわかる心』

多可町教育委員長 中道宗平

教育委員会の仕事を一言で言えば、『教育環境を整備すること』と言えます。

教育の平等性ということからしても、全ての校園に平等な教育環境を整えると言うことが大切であります。それと同時に、それぞれの学校・園の特色を大事にし、より伸ばしていける支援が大切であると考えます。

三町の合併により、町立の学校園も14校園となりました。

14校園には、それぞれに異なった特色があります。教育目標とかその手法というような事だけではなく、地域と深く結びついたところから発生するものです。それは、地域の文化や歴史に培われてきたものであり、地域の特色そのものでもあります。

この恵まれた環境を活かしながら、地域と共にある学校、地域に開かれた学校を目指していきたいものです。

今後とも、地域住民の皆様にはいっそうのご協力ご支援をお願い申し上げます。



本の好きな子に

絵本や物語を通して、想像力が豊かになってほしい、人の心の奥深いところにふれてほしい、言葉や文字に興味・関心をもってほしいと願って、毎週、本の貸し出しを行い、読み聞かせにも力を入れています。また、ファミリーティチャーで本の読み聞かせをしてもらう機会もあります。子ども達は、毎週、本を借りるのを楽しみにしていたり、教師の読む絵本や紙芝居などを真剣に見たり聞いたりしています。

本の貸し出し



「どの本にしようかな？」絵本ボランティアのお母さんと、本を選んでいきます。



絵本ボランティアのお母さんに、借りる本を貸し出しカードに記入してもらっています。

ファミリーティチャーでの読み聞かせ



おはなしサークル『あいあい』さんに、読み聞かせをしていただきました。



【聴く力・話す力を身につける】

毎日取り組んでいる朝の会の中で、自分の考えや、思いを口に出して伝えたり、教師や友だちの話を落着いて聴いたりする時間を取り入れている。



歯みがき指導

【基本的生活習慣を身につける】

歯の衛生週間に合わせ、6月の参観日では、歌、手遊び、パネルシアターを通して歯の大切さを知り、実技指導で正しい歯の磨き方を親子で学びました。





自分らしさを見つけよう

～生きる喜び～

ワクワクすることをいっぱい見つけながら、心の栄養を貯える時期だと考えています。心の育ちを大切に、自分らしくすくすく育てられるように支援していきたいと思います。



友だちと一緒になら勇氣も喜びも倍増



(虫探し)



だんご虫を見つけたよ。
大きくてみんなビックリ。

(プール遊び)



ちょっと怖かったけど、
できたうれしかったよ。

(草花遊び)



しろつめ草で冠を作
れるようになったよ。

(製作遊び)



やったあ。でき上がり！
みんな見て、見て。



♪チャチャチャのリズム たのしいな♪



キッズランドは、0歳～5歳までの保育園・幼稚園として、継続的な学びの指導計画を作成している。ここでは、音楽活動について述べる。各年齢の成長に合わせた指導計画に基づき、音楽に親しんでいる。0～2歳児は、体でリズムをとったり、音楽にあわせて表現遊び楽しむ。3歳児では基礎的なリズム打ちを中心とし、4歳児では打楽器を使い音楽にあわせて合奏する。5歳児は、ハンドベルや鍵盤楽器で、音階に合わせて演奏することを楽しんでいる。これらの活動の成果を、11月の音楽祭で披露している。当日は、各学年の発表とゲストによる童謡等の鑑賞を行っている。

<3歳児の風景>



♪ り ん ご ぎゅ ♪
4拍子のリズムを覚えました

<4歳児の風景>



楽器を持って音楽に合わせて
演奏しています。

<5歳児の風景>



自分のベルの色はどれかな？

目を輝かせ、進んで学ぶ児童の育成

「伝え合う力」を育てる

国語科学習の授業づくり ← 学習集団づくり

「国語」を研究教科とし、「伝え合う力を育てる」ことに取り組んでいます。特に今年は、その基礎となる「読む力」に重点をおいて進めています。全てのクラスで国語の授業を公開し、お互いに評価し合いながら、よりよい授業づくりを目指しています。

自分の思いを話し、友達の思いを聞く。「伝え合う力」を育てるためには、安心して話せる、受け入れながら聞く学級の雰囲気大切です。それがよい授業の土台となるのです。それぞれの学級づくりについて、担任同士も意見を交流し合いながら取り組んでいます。



音読集会 4年生

幼い子に親が絵本や物語、昔話などを読み聞かせをする文化がある。不思議とこの国にでもあるという。何度も何度も声に出して読むことが「読解」へとつながるのだろう。本校では、今年から「音読集会」に取り組んでいる。まだ始まったばかりだが、次の集会所が待ち遠しい。



音読集会 3年生

算数大好き！！南っ子

研究テーマ

「心に響き合う授業の創造をめざして
～基礎・基本を重視した算数科授業～」



月々 クラス裁量
火・水 計算力
木・金 読書

◎朝の学習の充実
・計算力と読む力の
スキルアップ

◎全教師による公開
研究授業
・算数科における
各学年の課題を
克服する提案型の
授業にチャレンジ
・本年度は21回の
授業研究

◎育てたい3つの力
A 聴く力
・個人差の対応
・聴く態度、姿勢
・聞くポイント
B 読み取る力
・暗唱の取り組み
・視写や聞き書き
・ワークシート活用
C 学び合う力
・友だちの良いところ
・見つけ
・がんばりを賞賛
・する
・目的をしっかり
持つ

研究授業



6年



4年



「わかった!」「できた!」

充実感のある学習をめざして



— つまずきの発見とその克服に向けて、子どもの目線から学びを捉えなおす —

昨年までは、新学習システムを利用した少人数授業の指導方法の工夫を研修の中心としてきました。本年度はそれに加えて、児童がつまずきやすいポイントと、そのつまずきの原因がどこにあるのかを明確にすることによって、つまずきを解消するためのよりよい指導方法を探究することを課題としています。つまり、少人数という利点を生かし、より個に応じた指導を追究していくものです。



少人数授業の改善に向けて

- ・参観日やオープンスクールなどに授業を公開する。
- ・授業についての評価（感想・疑問・要望等）をアンケート用紙に記入してもらう。
- ・感想や、疑問に対する答え、要望に対する対応を通信にまとめ、保護者に配布する。

うれしい声、厳しい声、アンケートにあるすべての声を励みに取り組んでいます。子どもたちの「わかった!」「できた!」の声を聞くために。



地域学習

地域の財産（人・モノ）
に学ぶ



朝の学習

基礎学力の定着を図り
確かな学力を保障



幼・小連携

異学年との交流を多くし
素直に自分を表現する

190名の明日をになう心豊かな杉小っ子
～豊かに感じ、伝え合い、響き合う～



一分間スピーチ

伝え合う力を育む

まっすぐにのびゆく杉の木のような
子どもたちに

そんな思いをもって、学校・地域（いきいき学校応援団）が子どもたちを育んでいます。



授業研究

学び・高めあう
教師集団

確かな学力の定着を目指して

わかる授業 楽しい授業

- パソコンを活用した授業や地域のゲストティーチャーを迎えた授業
- ふれあいの森での活動など体験活動を取り入れた授業や他校との交流授業
- スキル学習や振り返り学習など基礎・基本の徹底 など



読書指導の推進

- 朝の10分間読書や教師による読み聞かせの実施
- 図書ボランティアによる図書室の環境整備や読み聞かせ



基本的な生活習慣や学習習慣の確立

「確かな学力」は、基本的な生活習慣・学習習慣が土台となって定着するものです。睡眠不足や朝食抜きで登校してきても、頭は十分には活動しません。教科書やノートなど学習道具を忘れては学習どころではありません。

学校と家庭が連携して、子どもたちの生活習慣や学習習慣の確立を図っていきます。



- 読書月間、「チャレンジ読書」、ブックウォーキングなど、読書意欲を喚起する行事の実施

英語活動の推進

- ALTや英語講師による指導
- ・カリキュラムを基に担任とのチームティーチングで実施

5,6年生 週1時間
3,4年生 隔週1時間
1,2年生 月1時間



指導力の向上

- 校内研修の充実
 - ・校内公開研究授業の実施
 - ・指導法の研究
- 里山林(ふれあいの森)を活用した環境教育推進研修
- Web配信学習コンテンツの活用研究など



研究主題

一人一人がいきいきと学習に取り組む授業をめざして
— 表現力を育てる —

【一人一研究】 教師の個性を生かした授業づくり
～全員公開の授業研究～

【評価と指導の一体化】 生きた学級経営案づくり
～学級指導とめざす授業をもとにした～

【基礎学力の向上】 パワーアップタイム(プリント学習)等

【コンピュータを使った授業】 学習コンテンツの利用



表現力を育成する授業研究



読み聞かせタイム



コンピュータの授業活用

自分の思いを生き生きと！

本年度 研究主題

「自ら学び、生き生きと表現する子の育成」

～基礎・基本を身につける学習指導のあり方と評価～



水のかさの表し方を説明（第2回研究会）

西小学校の子どもたちは、明るく純朴です。全校児童50名、縦割り班活動を通して全校生仲がよく、温かい雰囲気の中で学校生活を送っています。反面、すべてを言葉にしないで伝わってしまう、教師が察して接してしまうということから、自主性や自己表現力の面で課題を抱えていると言えます。

そこで、教師主導ではなく、自分で課題を見つけ、自分の力で解決しようとする子、すなわち学ぶことのおもしろさや難しい勉強に挑戦する楽しさを感じ「自分から進んで活動する子」を育てていき

◆学習の充実のために

- ・聞き方・話し方の訓練
 - ・生活習慣と学習規律の定着
 - ・少人数を生かした指導法の工夫
 - ・ガイド学習の実践・改良
 - ・ノート指導の充実
 - ・授業形態の工夫
- ◆生きた評価のために
- ・目標と指導と評価の一体化を
 - ・自信、手応えを味わえる評価を
 - ・次時の指導に生きた評価を

たいと考えます。何より学習の基礎・基本となる力をしっかり身につけさせること



教師全員が1年に1回研究授業を

重点目標

☆学習習慣の確立（実践例）

- 授業における学習規律を育てる
 - ・チャイム着席
 - ・忘れ物ゼロ運動
- 家庭学習の実態の把握と個々への指導
 - ・自主学习ノートによる毎日の復習
 - ・ワークブックのこまめなチェック

☆基礎的事項の確実な定着（実践例）

- 単元ごとに確認の小テスト
 - ・毎日の授業での小テスト
 - ・定着していない生徒への再テスト
- 放課後の学習会
- 夏休み等を利用した補充学習会

☆学習意欲の向上につながる取り組み（実践例）

- 細やかな関わりができる少人数授業
 - ・個に応じた指導
 - ・発表の機会を増やす
 - ・質問しやすい環境を作る
- 興味・関心の重視
 - 「わかりやすく・丁寧に・ポイントを押さえた授業」の展開
- 視聴覚機器やパソコンの導入
 - ・インターネットを利用し、調べ学習への挑戦
- 「学習と生活」ノートへのコメントでの意欲づけ
- 学習意欲を育てる選択授業の拡大

「生徒が興味・関心を持ち、積極的に活動できる授業・評価を創造する」

教科指導委員会のテーマ

八千代西小学校

中町中学校



1 年 生

- ・英語は教室に二人の先生
- ・数学は2つのコースの習熟度別少人数授業
- ・ハチ高原で2泊3日の野外活動
- ・県立芸術文化センターでいきいきオーケストラ体験
- ・豊かな体験活動で杉原紙ゆかりの黒谷へ

2 年 生

- ・数学・英語は生徒が選ぶ習熟度別少人数授業
- ・国語は学級を二つ分けた少人数授業
- ・9年目のトライやる・ウィーク
- ・3学期には2泊3日のスキー教室

基礎基本

共に生きる心

安全・防災

3 年 生

- ・数学・英語は教室に二人の先生
- ・2泊3日の修学旅行で平和学習
- ・2年ぶりの「ひょうごの匠」でプロ体験
- ・今年もスゴイ！体育祭に文化祭の合唱コンクール
- ・福祉部が呼びかける夏の福祉ボランティア

全校が取り組んでいます

- ・火曜から金曜の朝は「朝の10分間読書」
- ・3年連続の県民芸術劇場で本物の芸術鑑賞
- ・「ふるさとの先輩」も応援している全校合唱
- ・近隣校にはない太陽光発電設備。環境教育にも取り組んでいます。

身につけたい力

基礎学力

○ 基本的な学習習慣の確立

- ・生徒会学習規律4カ条の徹底
 - ① 授業の準備、忘れ物ゼロ
 - ② 時間厳守で、ノーチャイム着席
 - ③ 大きな声で、正しい言葉づかい
 - ④ 静かに、考えながら聞く態度

○ 個に応じた学習の展開

- ・ハーフサイズの授業
 - 1・2・3年生の数学・英語
- ・選択教科
 - 2年生の数学・英語
 - 3年生の国語・数学・英語

表現力

○ 表現活動を主とする授業の展開

- ・選択教科 — 2年生の社会・体育・音楽・美術・英語
- 3年生の社会・体育・音楽・技術・美術・英語
- ・総合読書の時間—課題作文・創作劇・弁論大会

○ 全校合唱の推進



今こそ道徳教育 ― 情報と友だち関係 ―

園田学園女子大学 教授 野口 克海

濃い人間関係は疲れる

ある道徳の授業で――

「君たち、親友と呼べる友だちがいますか？ とて
も仲良しで、気が合って、楽しい時も悲しい時もいつ
も一緒に、これから先、年をとってもずっと信頼し、
助けあえる友だちが……」

「あれっ？ 違うの？ 君の考えている親友って、ど
んなの？」

「オレ、サッカーやる親友いてるし、塾と一緒に勉強
する親友もおるし、家に帰ったら近所で遊ぶ親友いて
るけど……。別々やで……」

ある家庭の子ども部屋で――

土曜日の午後、お友だちが3人遊びに来たので、お
母さんが子ども部屋に、

「ハイイ、おやつですよ、どうぞめしあがれ」と持っ
ていき、子どもたちの様子を見て驚いた。

娘はマンガを読み、一人はパソコンでゲームをし、も
う一人はテレビを見ている。

みんな一人一人で別々のことをして遊んでいるでは
ないか。

「あんたたち、一緒に遊べば？」というと、娘はマン
ガの本から顔を上げて、

「一緒に遊んでるやん？」と言う。

ある大学で――

大学生と話していても、「ちょっと風邪ひいても、
病院行きや、あした一緒に病院ついていったら？」
とか言われたら、「うるさい」と思う。

「関係ないやろー」と立ち入って欲しくないことに話
がおよぶと遮断してしまう。

この友だちとは、卒論のゼミが同じという点で仲良
くしているけれど、それ以上はお互いに踏み込まない。
自分の全人格をさらけだして、何もかも理解し合いた
いというつきあい方をする学生が少なくなってきた
ように感じる。自分にとって必要な特定の分野だけ
のおつきあいが気が楽でいいらしい。何もかも一緒に
というような、濃い人間関係は疲れるという。



そう言えば……

最近、『中央公論』や『文芸春秋』などの総合雑誌を
若い人は読まなくなった。書店には、アバレル、グル
メ、旅行、パソコンなどの雑誌が、それぞれ細かいニ
ーズに応じた分野ごとに何百種類と並んでいる。知れた

い特定の分野の情報だけが、すぐに手に入る。インター
ネットで自殺のサイトで知り合った見ず知らずの人と、
車の中で自殺する時代である。これも、自分にとって
必要な部分だけ気の合う「自殺の親友」なのだろうか。
人間関係が全人格的なつきあい方から部分的なつきあ
い方に変わってきている。必要な情報だけがすぐ手に
入る情報化社会の産物のような気がする。

今こそ道徳教育を

インターネットで爆弾の作り方を調べて、教室に投
げ込んだり、子どもが親を殺したり、先生をナイフで
刺したり、同級生の首をカッターナイフで切ったりす
る時代である。対症療法的な生徒指導ではもはや限界
にきている。いじめや仲間はずれ、暴力といった問題
事象が発生した時でも、自分たちの問題としてなかなか
受け止められない。「自分には関係ない」という意
識がまず働いてしまう。小さい頃から異年齢の集団で
群れて遊ぶという機会に恵まれない子どもたちも増え
た。共に喜び、共に悲しみ、心の底から信頼しあえる
仲間をつくる経験が少なくなってきた。子どもたち
は、生きていく上で最も大切な「仲間とつながる」
ことが苦手になってきている。少子化、核家族化、情
報化、都市化などの急激な変化が、子どもたちの心を
弱くしている。

今、学校現場に求められていることは、子どもたち
の内面的な資質の育成に力を入れることではないか。
心を揺さぶる道徳の時間で道徳実践力を高め、体験
を通じて道徳実践を積み上げていく、この繰り返し
により、豊かな道徳性を獲得できる学校の取り組みを
期待したい。



兵庫県立多可高等学校

校訓：日々新

多可郡多可町中区東山553 TEL0795-32-3214



学習 生徒の興味・関心・進路に応じて学べる3つの類型

平成18年度
入学生まで
総合類型
個性伸長類型
福祉教養系
ビジネス情報系

平成19年度
入学生から
総合カルチャー類型
福祉ボランティア類型
情報ビジネス類型

すべての教科をバランスよく
学習し、大学などの上級学校
へのステップを目指します



福祉の専門科目を取り入れ、
「福祉心」をもった地域を支え
る人材育成を目指し、次のス
テップへ送り出します

情報教育に力を入れ、実
社会で有用な知識、技能
の習得を目指します

個性の違いも仲間となって、
夢を実現！



海外への修学旅行



妙見祭



ふれあい育児体験

部活動

運動部

野球
ソフトテニス
サッカー
ソフトボール
バレーボール
バスケットボール
卓球
剣道

文化部

吹奏楽・和太鼓
ボランティア
ディセット
新聞
書道
美術
華道
茶道
EAC
放送

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~taka-hs/>

としょかんへ行こう！

知識の宝庫、図書館。この夏休みを利用してたくさん本を読んでみましょう。雑誌、児童書、一般書から課題図書まで利用できます。

本をさがす

インターネット（パソコン）で蔵書の検索ができます。また、携帯電話からも蔵書検索ができるようになりました。

<http://www.library.taka.hyogo.jp/i/home.html>

予約

予約ができます。
本が返ってきたらご連絡します。

多可町青少年育成センターよりお知らせ

6月より新しく多可町青少年育成センター所長として、遠藤久夫さんが着任されました。

同センターは、多可町中央公民館事務所に設置されています。

☎ (0795) 32-3423

としょかんカード

貸し出しにはカードが必要です。
カードをつくるには、「利用申込書」にご記入の上、住所・氏名の確認ができるものをご持参ください。
(一人10冊、2週間まで借りることができます。)

本を返す

本をカウンターにお持ちください。
閉館している時は返却ポストに入れてください。

リクエスト

図書館においていない本はリクエストしてください。他の図書館から借りたり、購入したり、できるだけご要望にお応えします。

多可町図書館 TEL32-5170

開館時間 午前10時～午後6時

休館日 月曜・火曜（第3日曜の週は月曜のみ）

祝日、年末年始（12月28日～1月4日）